



JAPAN INSTRUMENTATION SYSTEM Co.,Ltd.

日本計測システム株式会社

# 食の「やさしさ」と 「安心」を守る



ケアフード（介護食）テスター

## CF-200N

高齢化社会が進み、ケアフード（介護食品）の需要は更に高まっています。忙しい現場でも簡単に食べ物の硬さを測定できるケアフードテスター CF-200N。

ユニバーサルデザインフード(UDF)やスマイルケア食区分や、医療現場で使用される日本摂食嚥下リハビリテーション嚥下調整食分類2021(学会分類2021)がすぐに判定できます。

詳しくは裏面をご参照ください。

測定結果はデータでPCに転送※することも可能です。※データ転送はオプションです。

ケアフードテスターは食べる人、作る人、見守る人、みんなに安心を提供します。

かんたん  
測定

データ転送  
OK

コンパクト  
設計

かんたん  
洗浄



「ケアフードテスターCF-200N」はオンラインショップでご購入頂けます。

オンラインショップをご覧ください。(発送は日本国内に限ります。)

オンラインショップ <https://www.foodtester.jp>



# 簡単に食べ物の硬さを測定できるケアフードスター **CF-200N**

## ケアフード（介護食）の判定区分

UDF

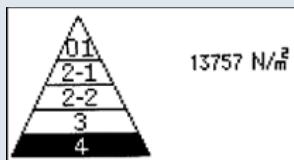
ユニバーサルデザイン  
フード(UDF)やスマイル

歯ぐきでつぶせる  
柔 か舌歯容 硬

ケア食は食べやすさに配慮したケアフード(介護食)です。かたさや粘度※に応じて「容易にかめる」「歯ぐきでつぶせる」「舌でつぶせる」「かまなくてよい」の4段階に区分されています。CF-200N ケアフードテスターは食品をセットし、スタートボタンを押すだけで、4段階のどの区分に当たるかを分かりやすい文言で表示できます。

※ゾル(液状)測定の場合、別途粘度計が必要な場合がございます。

JSDR



日本摂食嚥下リハビリテーション学会分類(ISDR)

では、コード0&1, 2-1, 2-2, 3, 4の5種にそれぞれ該当するか判定することができます。

この分類は日本リハビリテーション学会嚥下調整食分類2021(食事)に基づいています。

\*本機器では「嚥下調整食学会分類に基づく嚥下調整食レシピ123(編集 柏下淳江頭文江)」に記載されている物性測定値のかたさを参考にしています。

## 試験の条件

- ・試験速度 \*:10mm/sec ・圧縮深さ : 10mm
  - ・試料高さ : 15mm      ・プランジャ : 直径20mmの円筒型  
5回連続モード(UDF規格のみ)で測定すると、一番大きい数値と小さい数値を除いた3回の平均で4段階のどの区分当たるか判定できます

\*ISDPでは1mm/secと10mm/secが選択できます

Option オプション

データを転送してレポート作成に活用

判定結果はオプションのUSBケーブル通信で専用ソフトに転送でき、データ管理ができます。データはCSVで出力できますので、表計算ソフトを活用してレポートなどを作成していただけます。



検査結果一覧					
登録番号	検査日	検査項目	測定値	単位	基準範囲
00009	2022/12/01 10:14:13	尿中白蛋白	0002	4.3	3.3700E+3 N/m <sup>2</sup>
00010	2022/12/01 10:14:21	尿中白蛋白	0002	4.3	3.5600E+3 N/m <sup>2</sup>
00011	2022/12/01 10:14:29	尿中白蛋白	0002	4.4	3.2400E+3 N/m <sup>2</sup>
00012	2022/12/01 10:14:54	尿中白蛋白	2222	1.9	5.5440E+4 N/m <sup>2</sup>
00013	2022/12/01 10:15:01	尿中白蛋白	2222	1.9	5.6650E+4 N/m <sup>2</sup>

詳しくは日本計測システム株式会社にお問い合わせください。

**JISC** 日本計測システム株式会社 e-mail : sales@jisc-jp.com



250900200 rev 4